

豊島区の成功要因

五百円チケットを活用し、個別受診勧奨を実施
費用対効果が高い

東京都豊島区

豊島区 地域保健課 保健事業グループ

小池 典子 氏

豊島区では、無料クーポンによる乳がん検診の受診勧奨を平成21年度から実施しています。その成果あって、無料クーポン対象者の受診率は21%程度と高い水準を維持していました。一方、無料クーポンの対象ではない住民の受診率は12%程度と伸び悩んでおり、より一層の受診率の向上を図るためには、**無料クーポンの対象者以外の方々にいかにがん検診に足を運んで頂けるかが課題でした。**

そこで、受診率向上の効果的な手法として知られる、個別受診勧奨・再勧奨の実施を検討しました。当初の想定では、多くの事例で行われているような、リーフレットによる封書の受診勧奨を実施する予定でしたが、予算制約の中、より低予算でも高い効果が期待できる取り組みを検討・模索しました。

以上のような状況の中で出てきたのが、**500円チケットのアイデア**です。これは、有効期限を設けたチケット形式のご案内を、**無料クーポンの対象ではない乳がん検診対象者に郵送する**というものです(下図)。(※再勧奨は、無料クーポン対象者同様に未受診者へリーフレットを郵送しました)



豊島区で作成した500円チケット

この、500円チケットのアイデアは、以下の2つの点においてコスト削減に効果的でした。

- チケット形式は、リーフレットより印刷・郵送コストが安い
- 無料ではなく、500円の検診実施を前提とするため、区負担の検診費用が安い

平成23年度、無料クーポンの対象以外の乳がん検診対象者にこの500円チケットによる受診勧奨を行ったところ、**受診率は20.4%**で、**前年度に受診勧奨を行わなかった場合(14.0%)**に比べて**6.4%**も受診率が向上しました。さらに興味深かったのは、この**500円チケットによる受診勧奨は、無料クーポンとほぼ同等の受診率向上効果をもたらした**ことです(無料クーポン対象者の受診率は19.5%)。

以上より、500円チケットによる受診勧奨は、無料クーポンを補完する取組みとして有効であるということが明らかになったため、豊島区では平成24年度、平成25年度と継続的に同様の取組みを行っています。

*豊島区のH23年度個別受診勧奨事業は、東京都における医療保健政策区市町村包括補助事業「がん検診受診率向上事業」にて実施しました